

三里塚の アーチ橋 買ふと

さまいも

$$= 150 \text{ ft}$$

宝い名著いD

おまかせ料理付

11月6日 朝8時30分から青葉行動隊中心に
100人近くが顯音直下岩山に集まり、サムライ兵
団入りをやめた。次々と店の出でたイモは、2kgごとに
袋に入れられて一トロックに積みこまれた。そして、青葉
行動隊自身の運転で全国に配達された。
そして、少額目とこもれ、用賀内東峰の出荷場
で收穫を総てバーベキューにてございました。

田書卷之二

成田用水や公田用地貸付など様々
な政策に加つて反対同盟の中に
種々の動搖がある。今春、幾人かの
反対同盟が公田用地貸付を受けた。手に奪い取る斗いであり、一期用物に攻め込む
しかし、青年行動隊を中心としてキッペリ 現宝港に迫る斗いである。
と貸付けを拒否し畠原地を奪い返す三 畠農民交流という連携の仕方の限界を打ち破り、二つの
ヶ進んでいく。各部落反対同盟は、 自主耕作という攻勢的な具体的な斗いを
全員参加で農地奪還・自主耕作を行い 反対同盟と共に組つてゆこう。

許也存

こうと言つてゐた。公田は、三里の農民との間に地主・小作關係を結び、三里の農民を思いのままにしようといふ汚い手口をかけってきた。許さん。絶対に

政府一室老公田は、十七年にわたつて
三里塚農民の土地を奪つてやきたい。

10月の自主耕作(一部)

奪われた土地は実力で奪い返す。

赤風 No.129 82.11.11
京大三里塚斗争委員会

人々が用地借し付け反対という言葉を忘れても 私たちは、岩山の畑を耕します



《さつま運動連絡先》
千葉県山武郡芝山町菱田462-18
下野英俊
TEL 04797-8-0126

三里塚空港粉碎青年行動隊

岩山の畑にさつま芋を植えつけ、芋が育つ時間のなかで、やまとひなな
ことが三里塚のなかで起きました。内部矛盾のみぞの深さに、ため息
をついたり、首をかしげたりすることもたびたびでした。
三里塚斗争十六年目にして味わえる砾覚ひのであります。嘆いて
みてはじまりません。
これから凍てつく冬に向かいます。一年のなかで、冬が一番、考える
時間をつくれる季節です。
まだ、こんなことを言への早いかもしれません。
一九八三年がんばりましょう。

「いいかげんさが俺のとりえだよ。」 青年行動隊の会議のなかで
こんな言葉がとびだしました。
誤解を受けやすい言葉ですが、こんな脈絡のなかで、その言葉は語ら
れました。

「政府にとて、反対同盟といつのは、組織のようで、そうでもなく、
つかみどころがなくて、ほとほと手をやいでいる。手をか之品をかえ、
組織破壊を試みるのだけれど、なかなかつぶれない。
それは、俺らがいいかげんだからだ。いいかげんだからと言って、せ
のことを見かしく思うのではなく、むしろ、それが俺らのとりえなんだ
と誇るべきなんだ。そのことが、斗いき十六年間、もたしてきたんだが
う。」

「このさつま芋から何十という芽がふきだします。その一本一本は苗
となり、根つき、新しい芋を育てます。一株一株は、それぞれ精一杯、
思う存分、勝手気ままに、茎をふとらせ、葉を茂らせて成長し合い、し
かも、それぞれ邪魔し合わずに共生して、一枚のさつま芋畑をつくりま
す。私たちは、さつま芋に限らず、いろいろな作物の旺盛な生命力と共に
存の世界に生きられ、そのことから教えられ、生きています。
私たちにとって、私たち一人一人が、まずは、私たちらしく生き抜く
ことが、私たちの三里塚斗争です。
天真爛漫なことが、私たちの命です。」